

令和6年度水道事業会計決算の概要

長浜水道企業団

1 決算のポイント

長浜水道企業団地域水道ビジョンに基づき、事業区域の統合や施設の老朽化への対応等の事業を実施しました。また、安全な水道水の供給のため浄水施設の点検や修理、水道管の漏水修理等を実施しました。

収支の状況については、収益的収支はほぼ前年度並みだった一方、資本的収支は建設改良事業の増加により収入支出ともに約8億円増加しました。

経営の状況を示す収益的収支については、8事業のうち2事業(余呉木之本、西浅井)は赤字となりましたが、企業団全体では、3億8,446万2千円の黒字となりました。このうち、3億5,000万円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

収益的収支 (消費税抜)

収入 26億5,036万9千円

(前年度比 1,324万9千円減)

支出 22億6,590万7千円

(前年度比 7,732万2千円増)

黒字 3億8,446万2千円

(前年度比 9,057万1千円減)

資本的収支 (消費税込)

収入 16億9,024万7千円

(前年度比 8億4,308万5千円増)

支出 25億3,887万5千円

(前年度比 8億1,517万2千円増)

黒字の内訳

3億8,446万2千円

企業団

2億1,188万1千円

びわ

5,937万4千円

浅井

6,822万7千円 余呉木之本

湖北

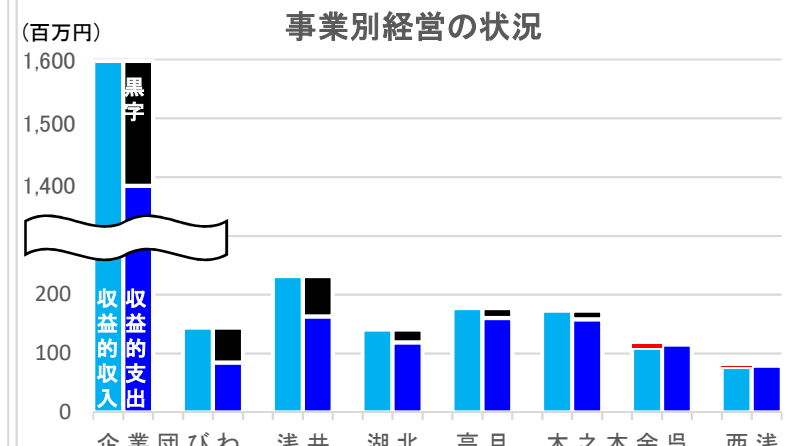
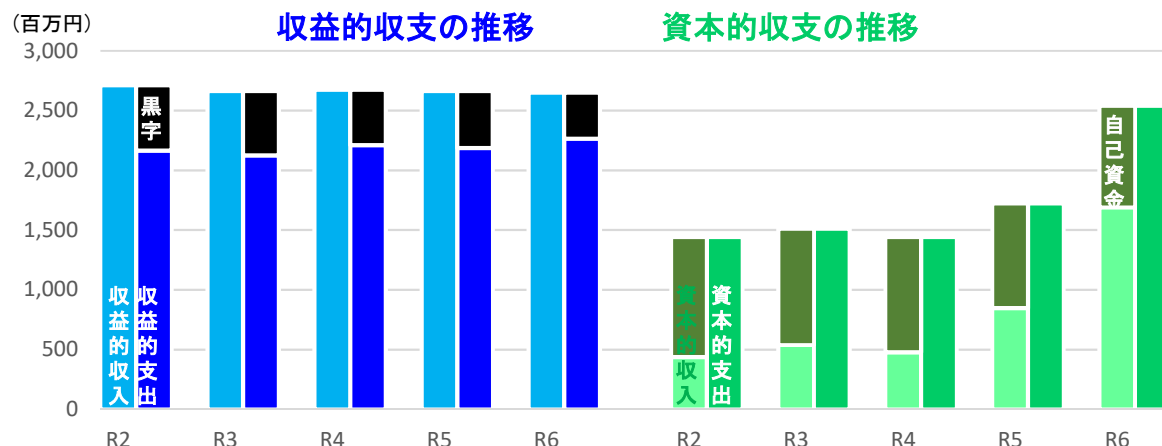
2,167万3千円 △583万4千円

高月

1,682万5千円 西浅井

木之本

1,438万8千円 △207万2千円



2

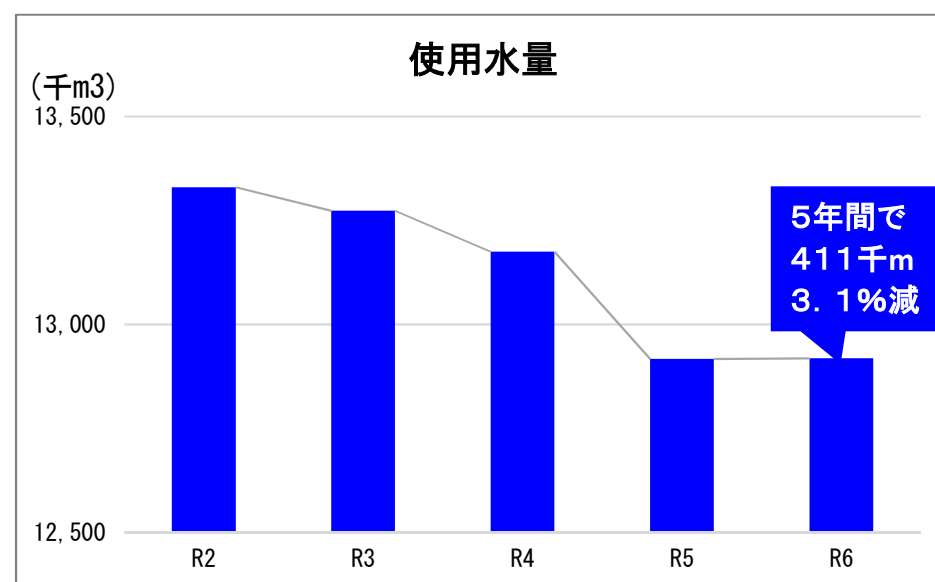
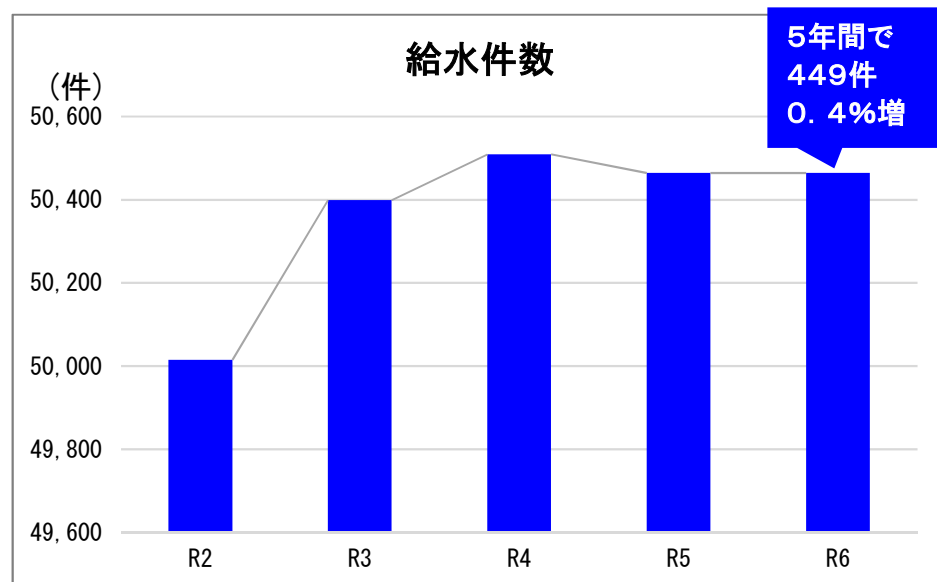
業務の状況

長浜市北部を中心に人口減少が進む一方、核家族化等の影響で給水件数は横ばいです。使用水量は企業団と浅井で微増しましたが、その他の地域では減少したため、全体としては横ばいとなりました。また、管路の老朽化や布設状態の悪さから漏水が多発し、湖北と木之本を除いて有収率が低下しています。

項目	合計	内訳							
		企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉・木之本	西浅井
給水件数(件)	50,464	31,175	2,436	4,797	2,953	3,775	2,110	1,629	1,589
対前年度増減(件)	0	0	△ 12	15	15	11	△ 17	△ 10	△ 2
対前年度増減(%)	0.0	0.0	△ 0.5	0.3	0.5	0.3	△ 0.8	△ 0.6	△ 0.1
年間使用水量(m3)	12,919,068	7,890,474	749,232	1,241,072	720,926	996,096	572,881	372,935	375,452
対前年度増減(m3)	1,932	38,781	△ 6,171	12,123	△ 28,398	△ 4,815	△ 146	△ 3,576	△ 5,866
対前年度増減(%)	0.0	0.5	△ 0.8	1.0	△ 3.8	△ 0.5	0.0	△ 0.9	△ 1.5
有収率(%)	73.9	84.3	61.3	60.8	63.2	65.7	71.1	45.2	60.8
対前年度増減(P)	△ 1.3	△ 1.6	△ 1.6	△ 0.4	0.7	△ 4.2	1.8	△ 3.0	△ 3.0

※有収率：浄水場から送り出す水の量に対して、水道料金の対象となった使用水量の割合。数値が低いと、漏水や火災の消火用水の割合が多いということです。

令和2年度から令和6年度までの給水件数および使用水量の推移



(税抜)

8事業合算収入	2,650,366千円
8事業合算支出	2,265,904千円
差引	384,462千円
令和5年度繰越利益剰余金	1,453,856千円
令和6年度未処分利益剰余金	1,838,318千円
(減債積立金積立)	350,000千円)

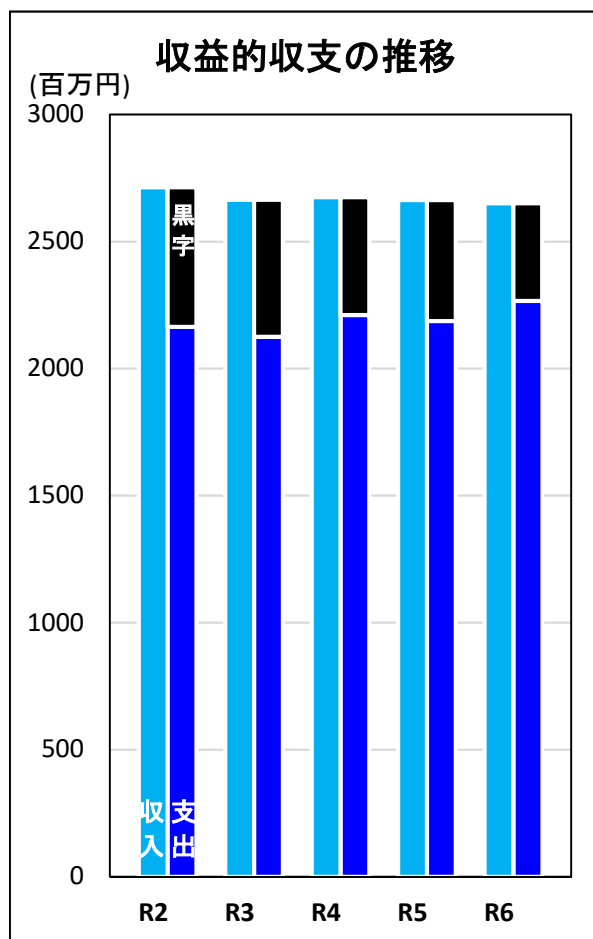
収入では、受託工事収益が増加しましたが、加入金や負担金が減少したため、前年度に比べ1,325万2千円(0.5%)減少しました。

支出では、物価高騰による動力費や薬品費、委託料の上昇により原浄水費が、受託工事の増加により給配水費が増加したため、7,731万9千円(3.5%)増加しました。

この結果、3億8,446万2千円の黒字となりましたが、前年度に比べ9,057万1千円(19.1%)の減益となりました。黒字のうち3億5,000万円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

(収益的収入)

(収益的支出)



科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
総収益	2,650,366	2,663,618	△ 13,252 (△ 0.5%)
水道料金	2,043,203	2,047,147	△ 3,944 (△ 0.2%)
受託工事収益	70,801	25,065	45,736 (182.5%)
受託事業収益	73,148	75,073	△ 1,925 (△ 2.6%)
加入金	49,280	71,654	△ 22,374 (△ 31.2%)
負担金	48,621	60,535	△ 11,914 (△ 19.7%)
長期前受金戻入	325,678	338,616	△ 12,938 (△ 3.8%)
その他	39,635	45,528	△ 5,893 (△ 12.9%)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
総費用	2,265,904	2,188,585	77,319 (3.5%)
原浄水費	499,175	392,559	106,616 (27.2%)
給配水費	240,853	188,064	52,789 (28.1%)
業務費	170,509	173,126	△ 2,617 (△ 1.5%)
総係費	126,083	133,670	△ 7,587 (△ 5.7%)
減価償却費等費	1,093,795	1,147,065	△ 53,270 (△ 4.6%)
支払利息	119,293	128,071	△ 8,778 (△ 6.9%)
その他	16,196	26,030	△ 9,834 (△ 37.8%)

(1) 企業団水道事業

収入	(税抜) 1,597,385 千円
支出	1,385,504 千円
差引	211,881 千円
令和5年度繰越利益剰余金	468,082 千円
令和6年度未処分利益剰余金	679,963 千円
(減債積立金積立)	200,000 千円)

収入では、受託工事収益が増加しましたが、加入金や負担金が減少したため、前年度に比べ436万5千円(0.3%)減少しました。

支出では、物価高騰による動力費や薬品費、委託料の上昇により原浄水費が、受託工事の増加により給配水費が増加したため、1億1,504万2千円(9.1%)増加しました。

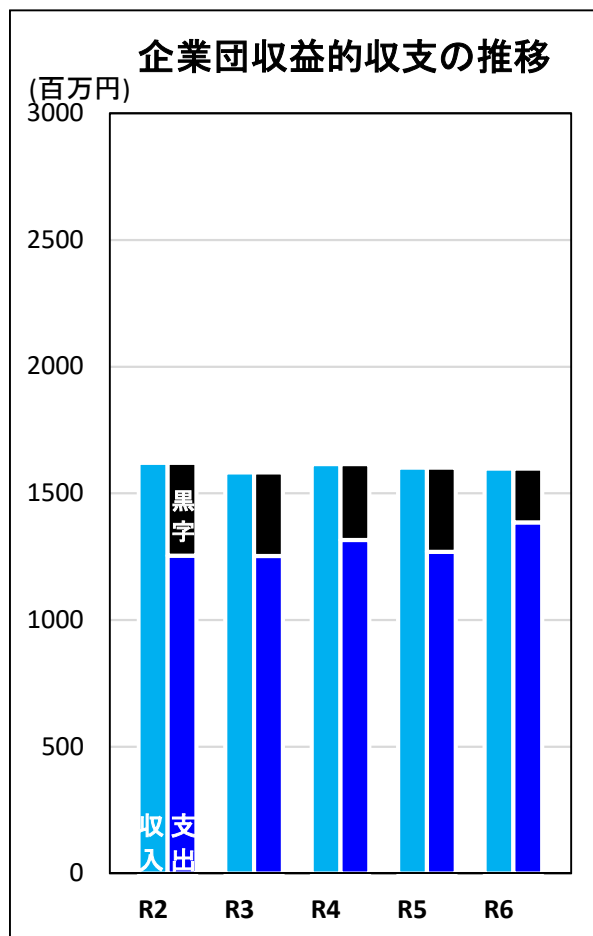
この結果、2億1,188万1千円の黒字となりましたが、前年度に比べ1億1,940万7千円(36.0%)の減益となりました。黒字のうち2億円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

(収益的収入)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
総収益	1,597,385	1,601,750	△ 4,365 (△ 0.3 %)
水道料金	1,254,525	1,257,403	△ 2,878 (△ 0.2 %)
受託工事収益	52,366	16,426	35,940 (218.8 %)
受託事業収益	44,399	45,831	△ 1,432 (△ 3.1 %)
加入金	34,980	52,594	△ 17,614 (△ 33.5 %)
負担金	20,876	33,227	△ 12,351 (△ 37.2 %)
長期前受金戻入	166,431	165,410	1,021 (0.6 %)
その他	23,808	30,859	△ 7,051 (△ 22.8 %)

(収益的支出)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
総費用	1,385,504	1,270,462	115,042 (9.1 %)
原浄水費	310,023	219,185	90,838 (41.4 %)
給配水費	184,695	145,412	39,283 (27.0 %)
業務費	120,090	119,691	399 (0.3 %)
総係費	121,745	128,867	△ 7,122 (△ 5.5 %)
減価償却費等費	580,779	568,355	12,424 (2.2 %)
支払利息	60,168	70,454	△ 10,286 (△ 14.6 %)
その他	8,004	18,498	△ 10,494 (△ 56.7 %)



(2) びわ水道事業

収入	(税抜) 143,892 千円
支出	84,518 千円
差引	59,374 千円
令和5年度繰越利益剰余金	224,861 千円
令和6年度未処分利益剰余金	284,235 千円
(減債積立金積立)	60,000 千円)

収入では、受託工事収益や加入金が減少したため、前年度に比べ706万6千円(4.7%)減少しました。

支出では、漏水修繕の増加により給配水費が増加しましたが、メーター交換の減少により業務費が減少したため、254万1千円(2.9%)減少しました。

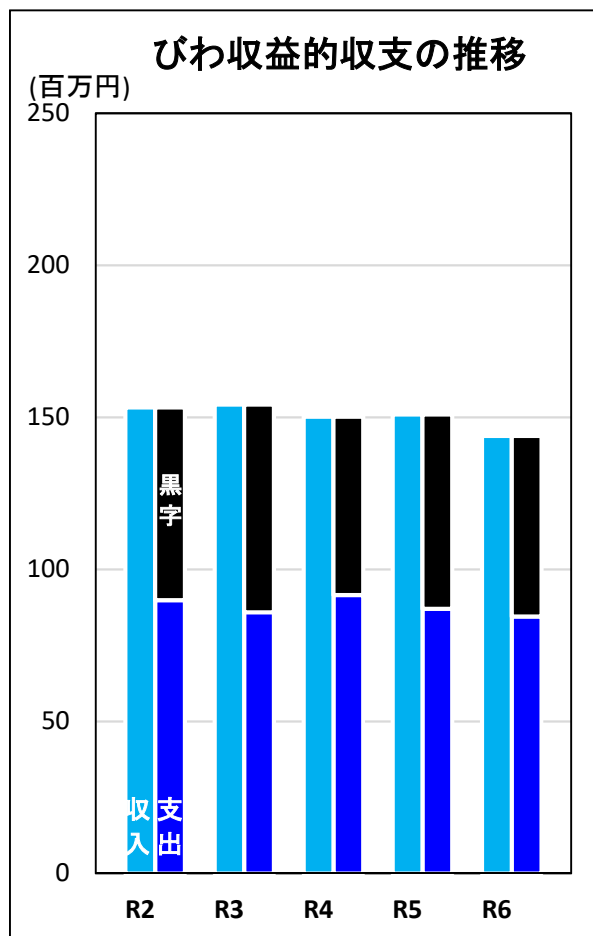
この結果、5,937万4千円の黒字となりましたが、前年度に比べ452万5千円(7.1%)の減益となりました。黒字と繰越利益剰余金を合わせた2億8,423万5千円から6,000万円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

(収益的収入)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
総収益	143,892	150,958	△ 7,066 (△ 4.7%)
水道料金	116,477	117,258	△ 781 (△ 0.7%)
受託工事収益	3	1,495	△ 1,492 (△ 99.8%)
受託事業収益	3,531	4,428	△ 897 (△ 20.3%)
加入金	1,120	4,200	△ 3,080 (△ 73.3%)
負担金	2,100	2,100	0 (0.0%)
長期前受金戻入	18,635	18,758	△ 123 (△ 0.7%)
その他	2,026	2,719	△ 693 (△ 25.5%)

(収益的支出)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
総費用	84,518	87,059	△ 2,541 (△ 2.9%)
原浄水費	19,396	19,556	△ 160 (△ 0.8%)
給配水費	5,228	3,423	1,805 (52.7%)
業務費	11,878	15,105	△ 3,227 (△ 21.4%)
総係費	742	776	△ 34 (△ 4.4%)
減価償却費等費	44,084	44,303	△ 219 (△ 0.5%)
支払利息	2,309	3,173	△ 864 (△ 27.2%)
その他	881	723	158 (21.9%)



(3) 浅井水道事業

収入	231,529 千円
支出	163,302 千円
差引	68,227 千円
令和5年度繰越利益剰余金	232,242 千円
令和6年度未処分利益剰余金	300,469 千円
(減債積立金積立)	60,000 千円)

(税抜)

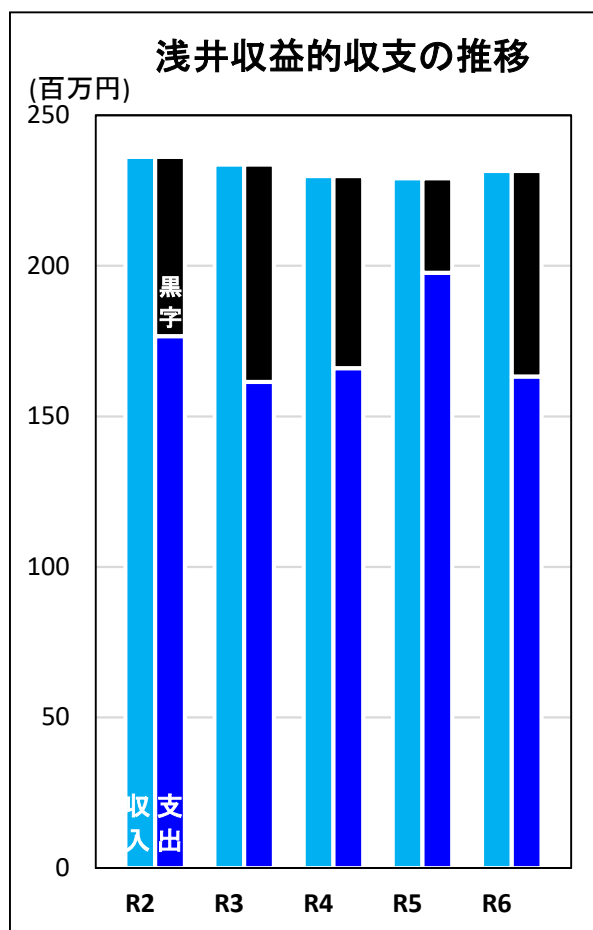
収入では、料金収入等が増加し、前年度に比べ250万3千円(1.1%)増加しました。
 支出では、物価高騰による動力費や委託料の上昇により原浄水費が、メーター交換の増加により業務費が増加しましたが、除却資産の減少により減価償却費等が減少したため、3,437万9千円(17.4%)減少しました。
 この結果、6,822万7千円の黒字となり、前年度に比べ3,688万2千円(17.7%)の増益となりました。黒字のうち6,000万円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

(収益的収入)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
総収益	231,529	229,026	2,503 (1.1%)
水道料金	191,749	189,902	1,847 (1.0%)
受託工事収益	59	52	7 (13.5%)
受託事業収益	7,751	6,728	1,023 (15.2%)
加入金	6,940	6,900	40 (0.6%)
負担金	8,045	8,074	△29 (△0.4%)
長期前受金戻入	13,414	13,339	75 (0.6%)
その他	3,571	4,031	△460 (△11.4%)

(収益的支出)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
総費用	163,302	197,681	△34,379 (△17.4%)
原浄水費	40,833	33,713	7,120 (21.1%)
給配水費	9,038	12,977	△3,939 (△30.4%)
業務費	15,717	13,583	2,134 (15.7%)
総係費	1,374	1,526	△152 (△10.0%)
減価償却費等費	81,437	124,138	△42,701 (△34.4%)
支払利息	11,476	10,241	1,235 (12.1%)
その他	3,427	1,503	1,924 (128.0%)



(4) 湖北水道事業

収入	140,814 千円
支出	119,141 千円
差引	21,673 千円
令和5年度繰越利益剰余金	375,136 千円
令和6年度未処分利益剰余金	396,809 千円
(減債積立金積立)	20,000 千円)

(税抜)

収入では、加入金や資産除却に伴う長期前受金戻入が減少したため、前年度に比べ716万6千円(4.8%)減少しました。

支出では、物価高騰による動力費の上昇により原浄水費が増加しましたが、除却資産の減少により減価償却費等が減少したため、540万4千円(4.3%)減少しました。

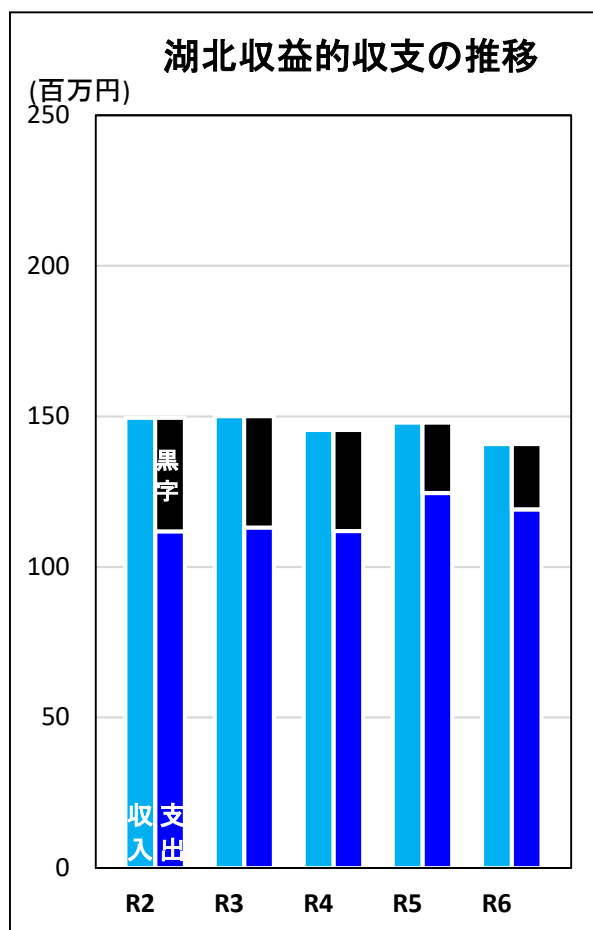
この結果、2,167万3千円の黒字となり、前年度に比べ176万2千円(7.5%)の減益となりました。黒字のうち2,000万円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

(収益的収入)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
総収益	140,814	147,980	△ 7,166 (△ 4.8%)
水道料金	116,540	117,214	△ 674 (△ 0.6%)
受託工事収益	41	30	11 (36.7%)
受託事業収益	4,416	4,409	7 (0.2%)
加入金	1,340	2,840	△ 1,500 (△ 52.8%)
負担金	5,278	5,225	53 (1.0%)
長期前受金戻入	10,921	15,059	△ 4,138 (△ 27.5%)
その他	2,278	3,203	△ 925 (△ 28.9%)

(収益的支出)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
総費用	119,141	124,545	△ 5,404 (△ 4.3%)
原浄水費	17,495	15,900	1,595 (10.0%)
給配水費	3,868	4,402	△ 534 (△ 12.1%)
業務費	4,697	4,521	176 (3.9%)
総係費	619	697	△ 78 (△ 11.2%)
減価償却費等費	84,877	91,311	△ 6,434 (△ 7.0%)
支払利息	6,325	6,304	21 (0.3%)
その他	1,260	1,410	△ 150 (△ 10.6%)



(5) 高月水道事業

収入	177,267 千円
支出	160,442 千円
差引	16,825 千円
令和5年度繰越利益剰余金	276,458 千円
令和6年度未処分利益剰余金	293,283 千円
(減債積立金積立)	10,000 千円)

(税抜)

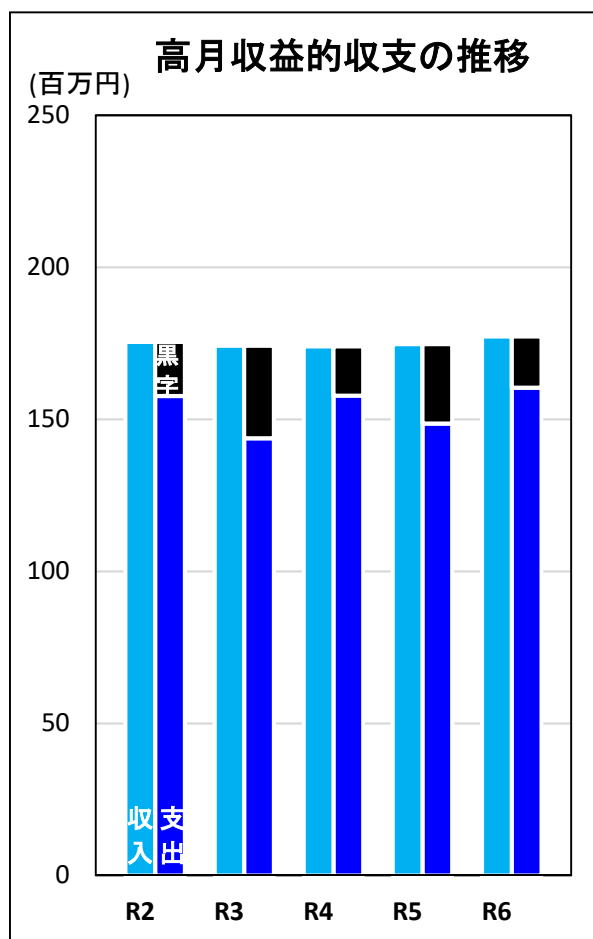
収入では前年度に比べ、受託工事の増加により受託工事収益が増加し、250万円(1.4%)増加しました。
 支出においても、受託工事により給配水費が増加したため、1,180万6千円(7.9%)増加しました。
 この結果、1,682万5千円の黒字となり、前年度に比べ930万6千円(35.6%)の減益となりました。黒字のうち1,000万円を企業債の元金償還に使用するため減債積立金として積み立てます。

(収益的収入)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
総収益	177,267	174,767	2,500 (1.4%)
水道料金	123,299	123,184	115 (0.1%)
受託工事収益	11,448	6,892	4,556 (66.1%)
受託事業収益	5,499	5,141	358 (7.0%)
加入金	3,340	3,480	△140 (△4.0%)
負担金	2,861	2,905	△44 (△1.5%)
長期前受金戻入	29,073	30,735	△1,662 (△5.4%)
その他	1,747	2,430	△683 (△28.1%)

(収益的支出)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
総費用	160,442	148,636	11,806 (7.9%)
原浄水費	29,550	29,513	37 (0.1%)
給配水費	21,648	14,086	7,562 (53.7%)
業務費	10,745	10,294	451 (4.4%)
総係費	672	756	△84 (△11.1%)
減価償却費等費	85,081	82,207	2,874 (3.5%)
支払利息	11,232	10,672	560 (5.2%)
その他	1,514	1,108	406 (36.6%)



(6) 木之本水道事業

収入	(税抜) 172,754 千円
支出	158,366 千円
差引	14,388 千円
令和5年度繰越利益剰余金	△ 184,732 千円
令和6年度未処分利益剰余金	△ 170,344 千円
(減債積立金積立)	0 千円)

収入では、貯蔵品の一部を発生品としてその他の収入(雑収益)としたため、前年度に比べ483万円(2.9%)増加しました。

支出では、漏水修繕の減少により給配水費が減少したため、61万1千円(0.4%)減少しました。

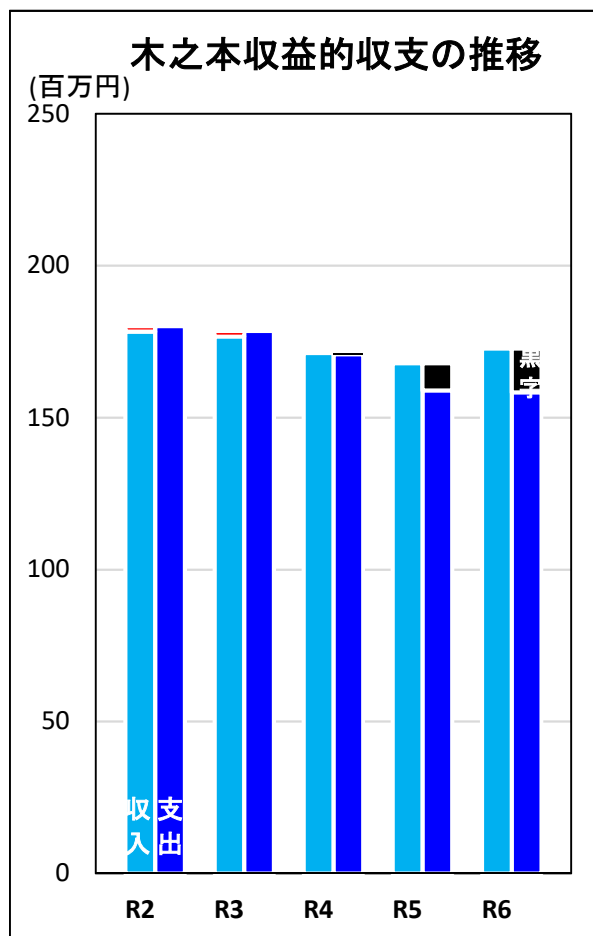
この結果、1,438万8千円の黒字となり、前年度に比べ544万1千円(60.8%)の増益となりました。しかし、令和6年度までの累積では1億7,034万4千円の赤字となっています。

(収益的収入)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
総収益	172,754	167,924	4,830 (2.9%)
水道料金	121,405	121,223	182 (0.2%)
受託工事収益	23	167	△ 144 (△ 86.2%)
受託事業収益	3,221	3,356	△ 135 (△ 4.0%)
加入金	820	680	140 (20.6%)
負担金	1,688	1,530	158 (10.3%)
長期前受金戻入	39,714	39,470	244 (0.6%)
その他	5,883	1,498	4,385 (292.7%)

(収益的支出)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
総費用	158,366	158,977	△ 611 (△ 0.4%)
原浄水費	36,583	36,101	482 (1.3%)
給配水費	2,828	3,336	△ 508 (△ 15.2%)
業務費	3,516	3,770	△ 254 (△ 6.7%)
総係費	446	502	△ 56 (△ 11.2%)
減価償却費等費	98,102	97,488	614 (0.6%)
支払利息	16,292	16,166	126 (0.8%)
その他	599	1,614	△ 1,015 (△ 62.9%)



(7) 余呉木之本水道事業

収入	109,546 千円
支出	115,380 千円
差引	△ 5,834 千円
令和5年度繰越利益剰余金	56,329 千円
令和6年度未処分利益剰余金 (減債積立金積立)	50,495 千円 0 千円)

(税抜)

収入では、受託工事の増加により受託工事収益が増加したため、前年度に比べ133万2千円(1.2%)増加しました。

支出では、物価高騰による動力費の増加や、計装設備・監視装置の点検実施により原浄水費が、受託工事の増加により給配水費が増加したため、307万7千円(2.7%)増加しました。

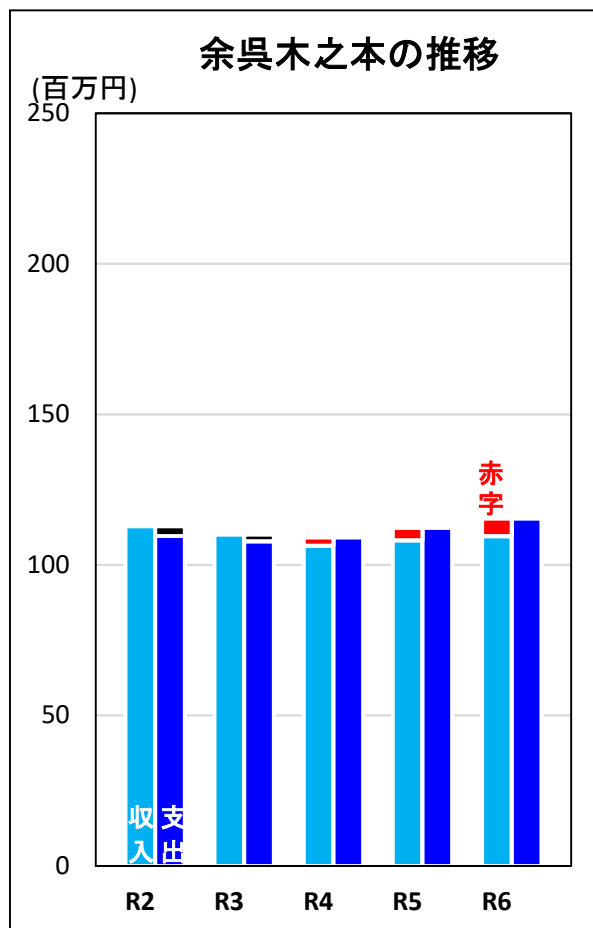
この結果、583万4千円の赤字となりました。前年度より174万5千円赤字が増えましたが、令和6年度未処分利益剰余金は赤字には陥っていません。

(収益的収入)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
総収益	109,546	108,214	1,332 (1.2%)
水道料金	60,558	61,468	△ 910 (△ 1.5%)
受託工事収益	6,838	0	6,838 (—%)
受託事業収益	2,061	2,545	△ 484 (△ 19.0%)
加入金	200	140	60 (42.9%)
負担金	4,306	3,595	711 (19.8%)
長期前受金戻入	35,547	40,057	△ 4,510 (△ 11.3%)
その他	36	409	△ 373 (△ 91.2%)

(収益的支出)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
総費用	115,380	112,303	3,077 (2.7%)
原浄水費	26,361	22,525	3,836 (17.0%)
給配水費	12,380	2,937	9,443 (321.5%)
業務費	2,362	2,941	△ 579 (△ 19.7%)
総係費	230	259	△ 29 (△ 11.2%)
減価償却費等費	67,168	77,408	△ 10,240 (△ 13.2%)
支払利息	6,587	5,328	1,259 (23.6%)
その他	292	905	△ 613 (△ 67.7%)



(8) 西浅井水道事業

収入	77,179 千円
支出	79,251 千円
差引	△ 2,072 千円
令和5年度繰越利益剰余金	5,480 千円
令和6年度未処分利益剰余金	3,408 千円
(減債積立金積立)	0 千円)

収入では前年度に比べ、資産除却による長期前受金戻入の減少により、582万円(7.0%)減少しました。

支出では、物価高騰による動力費の増加により原浄水費が増加しましたが、資産除却の減少により減価償却費等が減少したため、967万1千円(10.9%)減少しました。

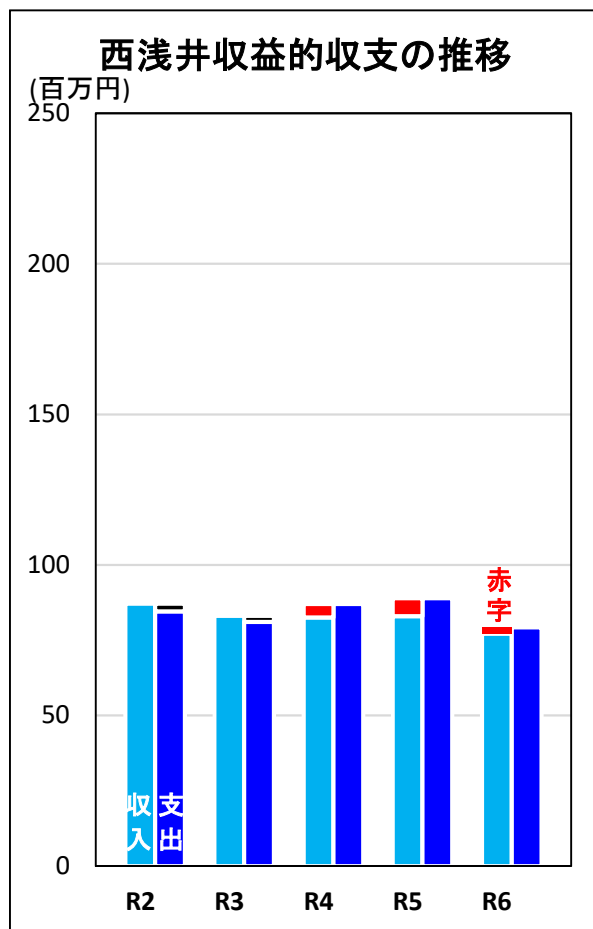
この結果、207万2千円の赤字となりました。前年度より385万1千円赤字は減りましたが、未処分利益剰余金は340万8千円と残りわずかになっています。

(収益的収入)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
総収益	77,179	82,999	△ 5,820 (△ 7.0 %)
水道料金	58,650	59,495	△ 845 (△ 1.4 %)
受託工事収益	23	3	20 (666.7 %)
受託事業収益	2,270	2,635	△ 365 (△ 13.9 %)
加入金	540	820	△ 280 (△ 34.1 %)
負担金	3,467	3,879	△ 412 (△ 10.6 %)
長期前受金戻入	11,943	15,788	△ 3,845 (△ 24.4 %)
その他	286	379	△ 93 (△ 24.5 %)

(収益的支出)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
総費用	79,251	88,922	△ 9,671 (△ 10.9 %)
原浄水費	18,934	16,066	2,868 (17.9 %)
給配水費	1,168	1,491	△ 323 (△ 21.7 %)
業務費	1,504	3,221	△ 1,717 (△ 53.3 %)
総係費	255	287	△ 32 (△ 11.1 %)
減価償却費等費	52,267	61,855	△ 9,588 (△ 15.5 %)
支払利息	4,904	5,733	△ 829 (△ 14.5 %)
その他	219	269	△ 50 (△ 18.6 %)



収入 1,690,247 千円 (税込)

支出 2,538,875 千円

差引 △ 848,628 千円

不足分補てん財源(自己資金)

当年度分消費税および地方

消費税資本的収支調整額 112,368 千円

減債積立金 431,624 千円

損益勘定留保資金(過年度分) 297,973 千円

損益勘定留保資金(当年度分) 6,663 千円

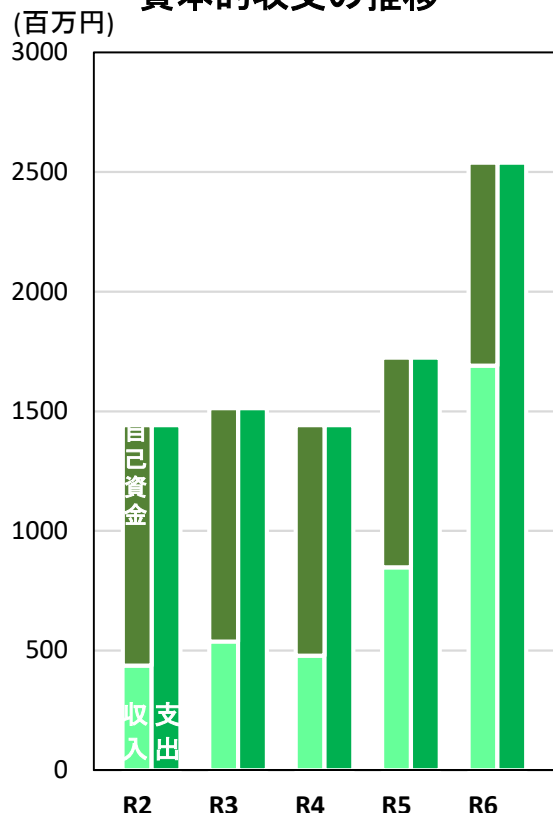
長浜水道企業団地域水道ビジョンに基づき、企業団とびわ、高月と木之本の事業統合を進めているほか、施設の老朽化への対応として、浅井水道再構築や浄水設備の更新、水道管布設替工事を実施しました。高山浄水場ろ過設備増設工事など、継続して実施してきた事業が完了となったため、建設改良費は前年度に比べて8億6,232万7千円(116.9%)増加しました。

主な建設改良事業として、配水管整備事業が4億9,366万2千円、浄水設備更新事業が10億9,476万1千円、用地費が1,154万8千円となりました。

企業債については、13億9,510万円借入れ、9億2,163万7千円返済し、令和6年度末残高は94億5,139万円となっています。

支出に対して収入が不足する8億4,862万8千円については、減債積立金等の自己資金で補てんしました。減債積立金を4億3,162万4千円、損益勘定留保資金を3億0,463万6千円使用し、令和6年度末の残高は、減債積立金が9,837万7千円、損益勘定留保資金が42億3,335万2千円となっています。

資本的収支の推移



(資本的収入)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	1,690,247	868,794	821,453 (94.6 %)
企業債	1,395,100	644,400	750,700 (116.5 %)
補助金	140,862	86,336	54,526 (63.2 %)
分担金	154,275	136,149	18,126 (13.3 %)
その他	10	1,909	△ 1,899 (△ 99.5 %)

(資本的支出)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	2,538,875	1,723,703	815,172 (47.3 %)
建設改良費	1,599,971	737,644	862,327 (116.9 %)
営業設備費	17,267	6,439	10,828 (168.2 %)
企業債償還金	921,637	979,620	△ 57,983 (△ 5.9 %)
予備費	0	0	0 (— %)

令和6年度主な事業の概要

① 企業団、びわ 水道事業統合事業

継続事業として、下坂浜浄水場の配水区域を旧びわ町全域へ拡大するもので、令和6年度は、びわ地区へ送水するための水道管布設工事および落合配水場改良工事を実施しました。

地区	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
びわ	継	続	事	業			



② 企業団八条山送水管布設替工事

継続事業として、八条山配水池への送水管布設替工事を行うもので、令和6年度は、第3工区の設計業務および土質調査業務を完了し、第3工区の布設替工事を令和7年度に繰り越して実施します。

地区	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
企業団	継	続	事	業			



③ 八条山配水池延命化工事

老朽化が進む八条山第3配水池延命化対策事業を行うにあたり、新池を設置する工事の設計業務を令和7年度に繰り越して実施します。



④ 下坂浜浄水場等浄水設備更新工事

下坂浜浄水場の計装設備更新工事およびろ過池制御盤の更新工事を完了し、中央監視制御設備更新工事を令和7年度に繰り越して実施します。

このほか、浅井地区の監視制御設備改良工事、湖北地区の中部浄水場電気盤更新工事や濁度計等設備更新工事、西浅井集福寺浄水場および永原中央浄水場の攪拌機等更新工事を完了しました。また、木之本水道黒田浄水場の電気盤等更新工事を令和7年度に繰り越して実施します。

工事内容	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
計装設備更新							
ろ過池制御盤更新							
中央監視制御設備更新							



⑤ 浅井水道 再構築事業

野村浄水場では遊離炭酸の数値が高いためエアレーション設備を増設、高山浄水場ではクリプトスポリジウムの高リスクのため急速ろ過設備を増設したほか、老朽化が進む七尾高区中継ポンプ場を改修する工事を実施しました。

地区	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
高山浄水場	継	続	事	業			
野村浄水場							
七尾高区中継ポンプ場							



⑥ 高月、木之本 水道事業統合事業

高月水道の配水区域を木之本水道区域へ拡大するもので、高月浄水場から木之本地区へ送水するための水道管布設工事(第1工区)を完了しました。水道管布設工事設計業務および新浄水場築造の設計業務については令和7年度に繰り越して実施します。

地区	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
送水管布設工事			継	続	事	業	
新浄水場築造設計							



⑦ 配水管整備事業

送配水管路のうち漏水の危険性の高い区間や老朽化した区間の布設替、道路や河川工事に伴い支障となる区間の移設、水道工事跡の舗装本復旧工事等を行い、一部工事について令和7年度に繰り越して実施します。

- 【企業団】 布設替工事4箇所、舗装復旧工事1箇所完了
- 【びわ】 舗装復旧工事1箇所完了
- 【浅井】 設計業務1件、布設替工事1箇所、舗装復旧工事1箇所完了
- 【湖北】 設計業務1件、布設替工事3箇所完了
- 【高月】 布設替工事1箇所、舗装復旧工事1箇所完了
- 【木之本】 設計業務1件、舗装復旧工事2箇所完了
- 【余呉木之本】 舗装復旧工事1箇所完了

継続事業一覧	浅井	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
	七尾低区	継	続	事	業			
	湖北西部	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
	基幹管路	継	続	事	業			
	各町内管路	継	続	事	業			
	山脇河毛		継	続	事	業		
	高月	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
	高野		継	続	事	業		
	木之本	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
	廣瀬	継	続	事	業			

(1) 企業団水道事業

収入	202,910 千円
支出	729,620 千円
差引	△ 526,710 千円
不足分補てん財源(自己資金)	
当年度分消費税および地方	
消費税資本的収支調整額	
18,773 千円	
減債積立金	
400,000 千円	
損益勘定留保資金(過年度分)	
107,937 千円	
損益勘定留保資金(当年度分)	
0 千円	

(資本的収入)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	202,910	123,409	79,501 (64.4 %)
企業債	202,900	121,500	81,400 (67.0 %)
補助金	0	0	0 (— %)
分担金	0	0	0 (— %)
その他	10	1,909	△ 1,899 (△ 99.5 %)

(資本的支出)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	729,620	675,900	53,720 (7.9 %)
建設改良費	223,185	129,763	93,422 (72.0 %)
営業設備費	17,046	5,782	11,264 (194.8 %)
企業債償還金	489,389	540,355	△ 50,966 (△ 9.4 %)
予備費	0	0	0 (— %)

(2) びわ水道事業

収入	164,498 千円
支出	182,441 千円
差引	△ 17,943 千円
不足分補てん財源(自己資金)	
当年度分消費税および地方	
消費税資本的収支調整額	
11,316 千円	
減債積立金	
6,627 千円	
損益勘定留保資金(過年度分)	
0 千円	
損益勘定留保資金(当年度分)	
0 千円	

(資本的収入)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	164,498	22,362	142,136 (635.6 %)
企業債	123,400	17,300	106,100 (613.3 %)
補助金	40,086	5,062	35,024 (691.9 %)
分担金	1,012	0	1,012 (— %)
その他	0	0	0 (— %)

(資本的支出)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	182,441	67,747	114,694 (169.3 %)
建設改良費	165,914	24,143	141,771 (587.2 %)
営業設備費	35	23	12 (52.2 %)
企業債償還金	16,492	43,581	△ 27,089 (△ 62.2 %)
予備費	0	0	0 (— %)

(3) 浅井水道事業

収入	833,554 千円
支出	886,894 千円
差引	△ 53,340 千円
不足分補てん財源(自己資金)	
当年度分消費税および地方	
消費税資本的収支調整額	
53,340 千円	
減債積立金	
0 千円	
損益勘定留保資金(過年度分)	
0 千円	
損益勘定留保資金(当年度分)	
0 千円	

(資本的収入)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	833,554	175,025	658,529 (376.2 %)
企業債	691,600	96,400	595,200 (617.4 %)
補助金	100,776	45,787	54,989 (120.1 %)
分担金	41,178	32,838	8,340 (25.4 %)
その他	0	0	0 (— %)

(資本的支出)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	886,894	217,062	669,832 (308.6 %)
建設改良費	800,972	134,217	666,755 (496.8 %)
営業設備費	58	437	△ 379 (△ 86.7 %)
企業債償還金	85,864	82,408	3,456 (4.2 %)
予備費	0	0	0 (— %)

(4) 湖北水道事業

収入	297,913 千円
支出	323,215 千円
差引	△ 25,302 千円
不足分補てん財源(自己資金)	
当年度分消費税および地方	
消費税資本的収支調整額	
20,305 千円	
減債積立金	
4,997 千円	
損益勘定留保資金(過年度分)	
0 千円	
損益勘定留保資金(当年度分)	
0 千円	

(資本的収入)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	297,913	52,310	245,603 (469.5 %)
企業債	255,800	19,300	236,500 (1,225.4 %)
補助金	0	0	0 (— %)
分担金	42,113	33,010	9,103 (27.6 %)
その他	0	0	0 (— %)

(資本的支出)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	323,215	85,007	238,208 (280.2 %)
建設改良費	256,663	19,303	237,360 (1,229.7 %)
営業設備費	37	62	△ 25 (△ 40.3 %)
企業債償還金	66,515	65,642	873 (1.3 %)
予備費	0	0	0 (— %)

(5) 高月水道事業

税込	
収入	22,281 千円
支出	103,176 千円
差引	△ 80,895 千円
不足分補てん財源(自己資金)	
当年度分消費税および地方	
消費税資本的収支調整額	
1,726 千円	
減債積立金	
20,000 千円	
損益勘定留保資金(過年度分)	
59,169 千円	
損益勘定留保資金(当年度分)	
0 千円	

(資本的収入)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	22,281	114,238	△ 91,957 (△ 80.5 %)
企業債	16,500	108,500	△ 92,000 (△ 84.8 %)
補助金	0	0	0 (— %)
分担金	5,781	5,738	43 (0.7 %)
その他	0	0	0 (— %)

(資本的支出)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	103,176	180,908	△ 77,732 (△ 43.0 %)
建設改良費	48,162	129,431	△ 81,269 (△ 62.8 %)
営業設備費	44	87	△ 43 (△ 49.4 %)
企業債償還金	54,970	51,390	3,580 (7.0 %)
予備費	0	0	0 (— %)

(6) 木之本水道事業

税込	
収入	77,326 千円
支出	159,008 千円
差引	△ 81,682 千円
不足分補てん財源(自己資金)	
当年度分消費税および地方	
消費税資本的収支調整額	
6,784 千円	
減債積立金	
0 千円	
損益勘定留保資金(過年度分)	
74,898 千円	
損益勘定留保資金(当年度分)	
0 千円	

(資本的収入)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	77,326	124,659	△ 47,333 (△ 38.0 %)
企業債	76,800	120,000	△ 43,200 (△ 36.0 %)
補助金	0	0	0 (— %)
分担金	526	4,659	△ 4,133 (△ 88.7 %)
その他	0	0	0 (— %)

(資本的支出)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	159,008	201,833	△ 42,825 (△ 21.2 %)
建設改良費	76,878	124,749	△ 47,871 (△ 38.4 %)
営業設備費	17	22	△ 5 (△ 22.7 %)
企業債償還金	82,113	77,062	5,051 (6.6 %)
予備費	0	0	0 (— %)

(7) 余呉木之本水道事業

税込	
収入	44,144 千円
支出	68,276 千円
差引	△ 24,132 千円
不足分補てん財源(自己資金)	
当年度分消費税および地方	
消費税資本的収支調整額	
124 千円	
減債積立金	
0 千円	
損益勘定留保資金(過年度分)	
24,008 千円	
損益勘定留保資金(当年度分)	
0 千円	

(資本的収入)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	44,144	214,454	△ 170,310 (△ 79.4 %)
企業債	19,400	157,300	△ 137,900 (△ 87.7 %)
補助金	0	35,487	△ 35,487 (△ 100.0 %)
分担金	24,744	21,667	3,077 (14.2 %)
その他	0	0	0 (— %)

(資本的支出)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	68,276	214,978	△ 146,702 (△ 68.2 %)
建設改良費	19,397	171,880	△ 152,483 (△ 88.7 %)
営業設備費	6	12	△ 6 (△ 50.0 %)
企業債償還金	48,873	43,086	5,787 (13.4 %)
予備費	0	0	0 (— %)

(8) 西浅井水道事業

税込	
収入	47,621 千円
支出	86,245 千円
差引	△ 38,624 千円
不足分補てん財源(自己資金)	
当年度分消費税および地方	
消費税資本的収支調整額	
0 千円	
減債積立金	
0 千円	
損益勘定留保資金(過年度分)	
31,961 千円	
損益勘定留保資金(当年度分)	
6,663 千円	

(資本的収入)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的収入	47,621	42,337	5,284 (12.5 %)
企業債	8,700	4,100	4,600 (112.2 %)
補助金	0	0	0 (— %)
分担金	38,921	38,237	684 (1.8 %)
その他	0	0	0 (— %)

(資本的支出)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度との比較 (増減率)
	千円	千円	千円
資本的支出	86,245	80,268	5,977 (7.4 %)
建設改良費	8,800	4,158	4,642 (111.6 %)
営業設備費	24	14	10 (71.4 %)
企業債償還金	77,421	76,096	1,325 (1.7 %)
予備費	0	0	0 (— %)

4 給水原価の状況

(1) 給水原価と供給単価

有収水量1m³あたりの費用である給水原価は、膜処理施設を有する木之本、余呉木之本、西浅井で高くなっており、有収水量1m³から得られる料金である供給単価は、高月が低く、木之本が高くなっています。

余呉木之本、西浅井では給水原価が供給単価を上回っており、費用を料金でまかなえていない状況です。

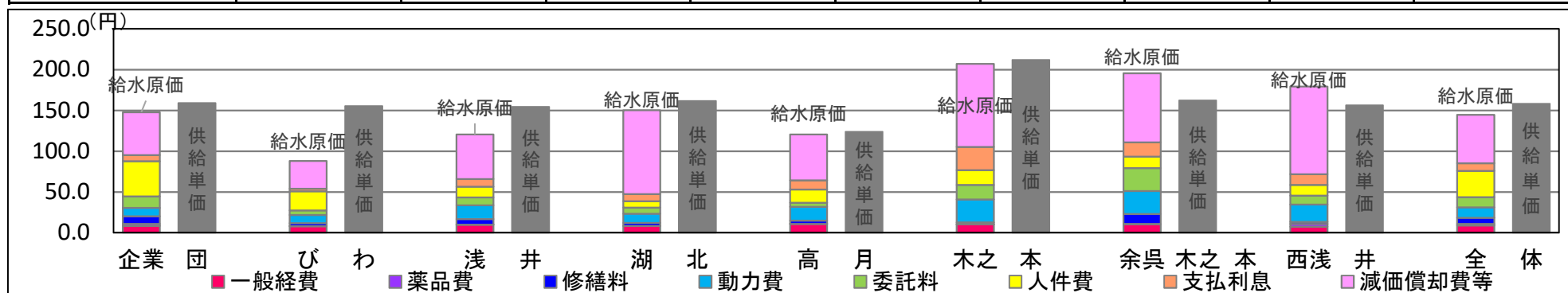
	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井	企業団全体
給水原価 (円)	147.8	87.9	120.7	150.1	120.4	207.1	195.7	179.2	144.7
供給単価 (円)	159.0	155.5	154.5	161.7	123.8	211.9	162.4	156.2	158.2

※給水原価 = {総費用 - (受託工事費 + 材料売却原価 + 長期前受金戻入)} ÷ 有収水量 ※供給単価 = 水道料金収入 ÷ 有収水量

(2) 原価構成

大規模な建設工事を行った事業では減価償却費等や支払利息が高く、膜処理施設を有する事業では運転のための動力費が高いほか、膜の洗浄など委託料も高くなっています。

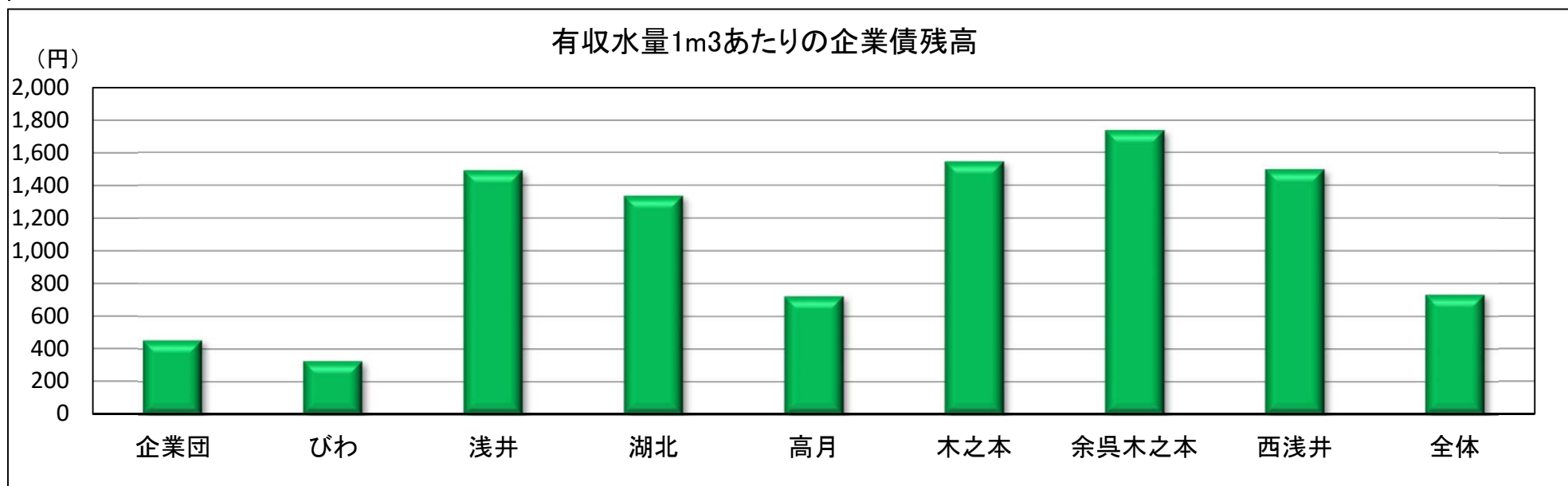
	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井	企業団全体
減価償却費等	52.5	33.9	54.8	102.6	56.2	101.9	84.8	107.3	59.5
支払利息	7.7	3.1	9.3	8.7	11.3	28.4	17.6	13.1	9.3
人件費	43.0	23.5	13.1	8.0	16.0	18.0	13.9	13.4	32.1
委託料	14.2	5.7	9.8	7.4	5.1	18.0	28.2	10.9	12.7
動力費	10.1	9.9	16.9	11.3	16.9	28.2	28.2	21.3	12.9
修繕料	9.3	3.7	6.8	3.6	3.9	2.1	12.3	2.2	7.5
薬品費	2.5	0.2	0.1	0.2	0.1	0.4	0.4	3.6	1.7
一般経費	8.5	7.9	9.9	8.3	10.9	10.1	10.3	7.4	9.0
計	147.8	87.9	120.7	150.1	120.4	207.1	195.7	179.2	144.7



5 その他財政状況

(1) 企業債の状況

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井	企業団全体
令和5年度末残高	3,864,929	138,170	1,243,895	773,458	758,940	890,926	676,844	630,764	8,977,926
令和6年度借入額	202,900	123,400	691,600	255,800	16,500	76,800	19,400	8,700	1,395,100
令和6年度返済額	489,389	16,492	85,864	66,515	54,971	82,113	48,873	77,421	921,637
令和6年度末残高	3,578,440	245,079	1,849,631	962,743	720,469	885,614	647,371	562,043	9,451,390



(2) 内部留保資金の状況

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井	企業団全体
令和5年度末残高	981,462	453,393	840,985	578,297	388,054	361,091	134,629	31,961	3,769,871
令和6年度受入額	414,348	25,449	68,022	73,956	56,008	58,388	31,621	40,324	768,117
令和6年度使用額	107,937	0	0	0	59,169	74,898	24,008	38,623	304,635
令和6年度末残高	1,287,873	478,842	909,007	652,253	384,893	344,581	142,242	33,661	4,233,352

(3) 退職給与引当金の状況

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井	企業団全体
令和5年度末残高	406,538	0	0	0	0	0	0	0	406,538
令和6年度受入額	20,000	0	0	0	0	0	0	0	20,000
令和6年度使用額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和6年度末残高	426,538	0	0	0	0	0	0	0	426,538

(4) 減債積立金、利益積立金の状況

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井	企業団全体
令和5年度末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和6年度受入額	400,000	60,000	30,000	20,000	20,000	0	0	0	530,000
令和6年度使用額	400,000	6,626	0	4,997	20,000	0	0	0	431,623
令和6年度末残高	0	53,374	30,000	15,003	0	0	0	0	98,377

(5) 建設改良積立金の状況

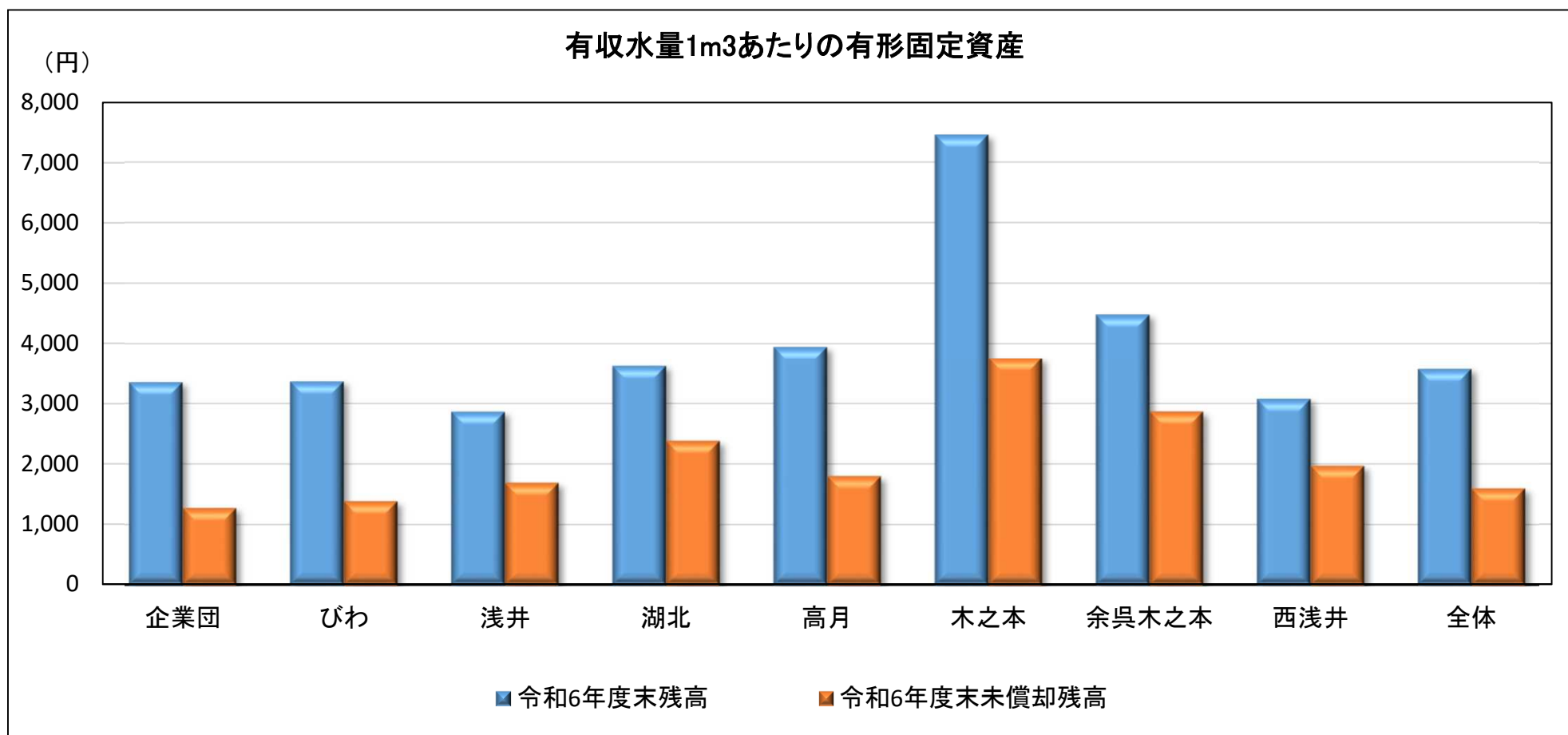
	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井	企業団全体
令和5年度末残高	91,600	0	0	0	10,000	34,139	0	0	135,739
令和6年度受入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和6年度使用額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和6年度末残高	91,600	0	0	0	10,000	34,139	0	0	135,739

(6) 修繕引当金、特別修繕積立金の状況

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井	企業団全体
令和5年度末残高	643,171	89,865	2,400	1,000	1,271	251	0	700	738,657
令和6年度受入額	7,200	900	1,200	500	0	0	0	350	10,150
令和6年度使用額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和6年度末残高	650,371	90,765	3,600	1,500	1,271	251	0	1,050	748,807

(7) 有形固定資産の状況

	(千円)								
	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井	企業団全体
令和5年度末残高	26,457,750	2,367,457	2,830,971	2,400,571	3,885,643	4,200,396	1,653,614	1,146,200	44,942,602
令和6年度増加額	451,519	156,053	1,606,624	317,331	94,975	221,480	58,718	17,390	2,924,090
令和6年度減少額	463,845	2,305	882,687	105,039	49,022	154,458	41,079	8,000	1,706,435
令和6年度末残高	26,445,424	2,521,205	3,554,908	2,612,863	3,931,596	4,267,418	1,671,253	1,155,590	46,160,257
令和6年度末減価償却累計額	16,416,728	1,486,823	1,459,130	898,114	2,141,700	2,119,328	602,413	416,788	25,541,024
令和6年度末未償却残高	10,028,696	1,034,382	2,095,778	1,714,749	1,789,896	2,148,090	1,068,840	738,802	20,619,233



(8) 主な指標

※全国平均の比較対象

	企業団	浅井・高月	びわ・湖北	木之本・西浅井	余呉木之本	企業団全体
給水人口	5万～10万人	1万～1.5万人	5千～1万人	5千未満	5千未満	10万～15万人
有収水量密度	平均未満	平均未満	平均未満	平均未満	平均未満	平均未満
水源	表流水	地下水	地下水	表流水	地下水	表流水

① 総収支比率 (%)

算式 (総収益 / 総費用) × 100

総収益と総費用を対比させ、企業の全活動の能率を表すもので、この比率が高いほど経営状態が良好です。

財政状況の厳しい木之本、余呉木之本、西浅井区域で低く、余呉木之本、西浅井区域は赤字のため100%未満となっています。

企業団 全国 滋賀県



	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	企業団全体	県内平均 (令和5年度)
総収益対総費用比率	115.3	170.2	141.8	118.2	110.5	109.1	94.9	97.4	117.0	109.2
全国平均(令和5年度)	107.8	106.8	105.7	106.8	105.7	107.7	111.0	107.7	110.8	—

② 流動比率 (%)

算式 (流動資産 / 流動負債) × 100

短期債務に対してこれに必ず流動資産が十分にあるかどうかを示すもので、この比率が高ければ高いほど短期債務の支払に十分な流動資産を有していることになります。

企業債の元利償還が多い事業では低い傾向があり、企業団、木之本、余呉木之本、西浅井区域が低く特に西浅井区域は100%を下回っています。



	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	企業団全体	県内平均 (令和5年度)
流動比率	394.5	1,712.7	662.8	804.7	1,131.0	196.8	280.5	69.6	503.6	337.2
全国平均(令和5年度)	348.7	304.6	300.9	304.6	300.9	233.0	326.0	233.0	330.5	—

③ 施設利用率（％）

算式 $(1\text{日平均給水量} / 1\text{日給水能力}) \times 100$

1日配水能力に対する1日平均給水量の割合を示すもので、高すぎると施設能力に余裕がなく災害時に不安があり、低すぎると過大な能力を有します。

浅井や余呉木之本は高く、施設に余裕がないが、びわ、木之本区域は低く、施設能力が過大であると考えられます。



	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	企業団全体	県内平均 (令和5年度)
施設利用率	59.0	40.4	83.5	65.9	75.0	41.0	89.7	73.7	61.2	62.2
全国平均(令和5年度)	52.4	49.2	56.4	49.2	56.4	53.8	35.1	53.8	63.3	—

④ 配水管使用効率 (m3／m)

算式 $\text{年間総給水量} / \text{導送配水管延長}$

導送配水管1m当たりの給水量をみて、その効率を計るものです。量が多いほど使用効率がよく、住宅などの多い都市部では高くなりますが、住宅などが点在する山間部や農村では低くなります。

山間部を抱える余呉木之本や西浅井で低くなっています。



	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	企業団全体	県内平均 (令和5年度)
配水管使用効率	16.8	12.2	11.0	11.0	11.4	11.6	9.0	7.5	13.4	16.8
全国平均(令和5年度)	11.7	7.8	9.7	7.8	9.7	8.4	8.9	8.4	13.1	—

⑤ 固定資産使用効率 (m3／万円)

算式 $\text{年間総給水量} / \text{有形固定資産}$

有形固定資産1万円当たりの給水量をみてその効率を計るものです。量が多いほど使用効率がよく、人口密度が高い地域や設備投資が少ない事業では高くなります。近年設備投資の少ないびわと償却期間が終了した施設の多い浅井は高く、設備投資の大きい木之本では低くなっています。



	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉 木之本	西浅井	企業団全体	県内平均 (令和5年度)
固定資産使用効率	9.5	10.0	9.7	6.7	8.5	3.7	7.7	8.4	8.5	6.9
全国平均(令和5年度)	4.7	4.6	5.3	4.6	5.3	3.8	4.0	3.8	6.4	—